

授業科目名： 英語科指導法Ⅱ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 森直樹 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 ・教材やICTの活用方法を知るとともに、英語による授業展開やALT等とのチーム・ティーチングの方法について理解する。 ・生徒の特性や習熟度に応じた指導について理解する。 ・中学校及び高等学校の学習到達目標に基づく各学年や科目（高等学校）の年間指導計画・単元計画・各時間の指導計画及び授業の組み立て方について理解するとともに、学習指導案の作成方法を身に付ける。 ・効果的な言語指導の基礎知識と、5つの領域（「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」及び「書くこと」）の指導のあり方について理解する。			
授業の概要 英語科指導法Ⅰの内容を踏まえ、英語科の指導計画、授業の組み立て方、学習指導案の作成方法を学び、4技能5領域の実践的指導の具体例の考察や、グループディスカッション等のアクティブ・ラーニングを通して学校英語教育に関する基礎知識を豊かにする。			
授業計画 第1回：英語科の指導計画と授業①（概要） 第2回：英語科の指導計画と授業②（領域別の学習到達目標の設定、年間指導計画） 第3回：英語科の指導計画と授業③（学習到達目標に基づく授業の組立て） 第4回：英語科の指導計画と授業④（教材及びICTの活用） 第5回：英語科の指導計画と授業⑤（英語でのインタラクション） 第6回：英語科の指導計画と授業⑥（ALT等とのチーム・ティーチング） 第7回：英語科の指導計画と授業⑦（生徒の特性・習熟度への対応） 第8回：英語科の指導計画と授業⑧（単元計画、各授業時間の指導計画） 第9回：英語科の指導計画と授業⑨（学習指導案の作成方法） 第10回：4技能5領域の指導準備（単元計画、学習指導案、教材の作成） 第11回：4技能5領域の指導①（「聞くこと」と「話すこと〔やり取り〕・〔発表〕」について） 第12回：4技能5領域の指導②（「読むこと」と「書くこと」について） 第13回：4技能5領域の指導③（5つの領域の言語活動について） 第14回：4技能5領域の指導④（学習指導要領に基づく英語の授業について） 第15回：言語活動の在り方の視点からの授業改善			
スクーリングでの学修 スクーリングでは第11回～第14回を包括的に扱う。			
テキスト 『新学習指導要領にもとづく英語科教育法 第3版』（大修館書店） 9784469246216			
参考書・参考資料等 （1）文部科学省「中学校学習指導要領〈平成29年告示〉解説 外国語編」 https://www.mext.go.jp/content/20210531-mxt_kyoiku01-100002608_010.pdf （2）文部科学省「高等学校学習指導要領〈平成30年告示〉解説 外国語編」 https://www.mext.go.jp/content/1407073_09_1_2.pdf （3）国立教育政策研究所「「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校外国語】」 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_gaikokg.pdf			
学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			